



「ブナのいる森」(右下:ブナの実)
写真提供:御岳ビジターセンター

神社の杜(六十四) 『隠れた巨樹「ブナ」』

片柳 茂生

私以前「裏山」(武州みたけ三十一号掲載)に登場いたしました、神社裏山に居ります御岳山で一番大きく、青梅市で二番目に大きなブナでございます。その際は詳しく紹介して頂けなかつたので、ご挨拶方々参上した次第です。

改めまして皆様、私本名をブナと申しますが、他にも肌(樹皮)の色からシロブナとも呼ばれています。私たちの多く住む白神山地の原生林が自然保護運動の影響を受けたおかげでしょうか、自然界のダムなどと称され、多くの人に親しまれております事、誠にありがたい限りでございます。

います。

性格は少しシャイなところでしょ
うか、この杜の中でも数は非常に少
なく仲間も点々とミズナラなどに混
じって暮らしております。皆様のお
目にかかり易い所にいる者では、長
尾平のトイレの横、それと表参道中
腹の道の脇にいる者位でしょうか
ね。また、イヌブナという者がおり
ますが、こちらはこの杜だけでなく
山中の至る所で出会える樹です。同
じブナと名が付きますが格好は全然
違います。私は根元から一本姿勢良
くスーと伸びますが、イヌブナは根
元にたくさんの子供(ひこばえ)を
引き連れており、肌も黒いのでまず
見間違えることは無いと思います。
私は、春の気配を感じますと真っ先
に芽を吹きだします、山肌を雪が
覆っているようが気にしません。灰
色がかつた杜にひときわ目立つ黄緑
色、それはそれは美しい景色で、春
の到来を皆様にお知らせしようと毎
年頑張っております。

私の名前を漢字で表しますと木偏
に無と書きまして「櫛」となります。

由来は材が腐りやすく役に立たない
ということから起こったとされてお
りますが、非常に不名誉な事で少々
不満に思っている次第です。確かに
建築材には向かないし、炭にしても
同じ仲間の櫛には及ばないと言う事
は自分で見よくわかっております。
しかし、漆器の椀や皿の木地として
は平安の昔より櫛に次いで重宝され
ておりましたことは自慢の一つです。

さて、ここまで自己紹介をしたの
で皆様もだんだん私に会いたくなっ
てきたのではありませんか。でも残念
ながら出会うことも見ることも難し
い所に私は居るのです。神社のすぐ下、
奥之院の鳥居と大口真神社をつなぐ
尾根から少し外れたところに居るの
ですが、昔あつた道は現在使えません。
その姿を一目見ようとしても、神社の
最奥の奥之院遥拝所からは杉の大本
が邪魔をし、長尾平から奥之院方面に
行く道からは杉や檜の向こうなので
あまりよく見えません。

こんな性格なものですから、どう
かこれからもひっそりと暮らさせて
下さい。お願いいたします。

あとがき

所在を尋ねられた神は依りついた人の口を
借りて、「我は山におらず、神社にもいない。
正直者の頭の上にくそ宿るのだ。」とお応えに
なれたと言います(「十訓抄」ほか八幡神の
由緒として語られるところ)。
人を惑わし、人を欺き、人をだます。毎日
のように起きる事件の多さに、人間の倫理観
の欠如を憂慮せずにはいられません。宿るべ
き場所がない神が人間社会から離れ、御力が
遠のいたのででしょうか。
嘘を見分ける神仏と向き合う際には、人は
正直にならざるをえません。この心で他者と
向き合うことができるならば、よりよい社会
が未来に訪れるはずで。

最後に、この半年間を無事に過ごせたこと
を御嶽大神に感謝し、毎年丁寧に教授下さる
先生方、ご奉納頂きました皆様、各種祭典や
行事に御協力・御協賛下さいました崇敬者の
皆様、各所関係機関の皆様には厚く御礼申し上
げます。

令和七年 三月八日発行

編集 武蔵御嶽神社

TEL 〇四二八(七八) 八五〇〇

FAX 〇四二八(七八) 九七四一

http://www.musashimitakejinja.jp/

印刷 (株)成和印刷

武蔵御嶽神社
公式SNS

公式
ホームページ



HP



facebook



X (Twitter)



instagram